

こころの友

発行所

社会福祉 長野県身体障害者
法人福祉協会
長野市中御所岡田98-1
TEL 026 (228) 0317
mail: info@nagasin.sakura.ne.jp
編集発行人 塩原 敬治



県身障協バッチ

理事長あいさつ



拝啓 初夏の
候、皆様におかれ
ましては益々清
祥のこととお喜び
申し上げます。

このたび、令和
七年六月十七日に開催されました定時評
議員会において、役員改選の決議がなされ、
新たな理事および監事が選任されました。

また、同日、評議員会終了後に開かれ
ました理事会の決議により、私、塩原が理
事長に選定されましたことをご報告申し上
げます。

未熟ではございますが、初めての理事長
という重責を担うにあたり、会員の皆様のご
理解とご協力を賜りながら、新体制のもと
と協会運営に支障を来すことのないよう、
誠心誠意努めてまいります所存です。

本年度は、理事および監事の任期（2
年間）が満了し、また評議員におかれまし
ても4年間の任期が満了するなど、役員体
制が大きく変わる節目の年となりました。

前理事長・小林和夫様には、世界的に
猛威を振るった新型コロナウイルス感染症
の流行という未曾有の状況下において、ご
尽力いただきました。ご労苦に心より敬意
を表し、深く感謝申し上げます。

現在もなお、感染症への対策としてマス

理事長 塩原 敬治

新役員紹介

クの着用品が続くなど、予断を許さない状況
ではございますが、引き続き役員一同で協
力し、より一層充実した協会活動に取り組
んでまいります。

結びに、皆様のご健康とご多幸をお祈
り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

敬具

理事長 塩原 敬治（南信）

副理事長 吾妻 博夫（東信）

副理事長 丸山 近志（中信）

副理事長 森崎 鉄兵（北信）

理事 柳沢 公一（東信）

理事 青木 英雄（南信）

理事 丸山 美栄子（中信）

理事 丸山 勝（北信）

理事 青木 勝久（県視障協）

理事 松原 武（県聴障協）

理事 吉沢 光則（県社協）

理事 矢澤 則夫（北信）

理事 小山 智実（長野市身障協）

理事 畠山 敏雄（東信）

評議員 小林 壽夫（東信）

評議員 高橋 美也子（東信）

評議員 大和 邦彦（南信）

神谷 敏彦（南信）
飯島 恵美子（南信）
中村 豊江（中信）
畑中 薫（中信）
丸山 顕（北信）
小林 誠二（北信）
芦沢 哲夫（北信）
武藤 文子（県視障協）
矢野 吉江（県聴障協）
柳澤 富子（女性部）
中島 将（県社協）

令和7年度 事業計画

1 相談員等の研修等

相談員の資質向上に向けて、障害
者施策・相談支援等の研修会等を開
催します。

2 身体障害者の福祉に関する啓発活動

身体障害者に対する県民の理解を得
るとともに、会員自身の自立意識を高
めるための啓発活動を推進します。

(1) 「長野県身体障害者福祉大会」の開催

今日まで、県・郡市協会が一丸となっ
て開催してきました福祉大会ですが、
会員の減少と高齢化により単独での
開催が難しくなってきました。

そのため、令和5年度からは、長
野県社会福祉協議会が101団体で
実施している、長野県社会福祉大会
（ふっころフェスティバル）で併催での
開催に変更しました。

令和7年度も、令和6年度同様に
会員はじめ関係福祉団体・行政機関
の関係者とともに大会を開催する予
定です。

(2) 機関紙の発行

3

社会参加促進事業等の推進

本会の機関紙「こころの友」を年
2回発行し、協会活動、制度の改正
など各種の最新情報を提供します。
また、会員の活動状況や投稿作品等
を掲載し、紙面の充実を図ります。

ホームページの充実

本協会のホームページを活用し、
障害のある人もない人も障害者福祉
に関心がもてるよう、分りやすく適
時適切な情報提供を図ります。

(1) 障害者の社会参加推進事業の実施

長野県から委託を受け「長野県障
がい者社会参加推進センター」の運
営を行い、障害者福祉団体と連携し、
障害者の社会参加促進を図ります。

また、「長野県障がい者社会参加推
進センター」のホームページを通して、
社会参加促進のための情報提供を行
うとともに、全国障害者総合福祉セ
ンターが主催する書道、写真コンテス
トの周知を図り参加を促進します。

(2) 障がい者社会参加推進協議会の開催

「長野県障がい者社会参加推進セン
ター」の業務を推進するため、障害
5団体の代表による協議会を開催し、
各団体の要望を知事との懇談で伝え
ます。

(3) 障害者福祉団体地域連絡協議会の開催

障害者の多様な要望を把握すると
ともに、地域の関係団体の連携を図
り、障害者の自立と社会参加を推進
するため、県内4ブロックで開催し
ます。

4 協会事業の推進

(1) スポーツ大会・文化芸術祭への参加

5

- ア スポーツ大会への参加
県及び公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会等が主催する各種スポーツ大会に係る情報の周知を図り、参加を促進します。
- イ 長野県障がい者文化芸術祭への参加
県及び障害者福祉関係団体で構成する実行委員会により開催される「長野県障がい者文化芸術祭 in ながの」(長野市のサンアップルで令和7年9月20・21日に開催予定)に積極的に参加することにより、障害者の社会参加を促進します。
- (2) 上田点字図書館の運営
視覚障害者の福祉向上を図るため、上田点字図書館の運営と利用者へのサービスの充実に努めます。
- (3) ブロック会議への助成
各ブロック単位の会議・活動に対し、郡市協会の結束と組織の強化を図るため助成します。
- (4) 健康教室への助成
会員の健康の維持・増進を図るため、女性部が主体となって運営する健康教室の開催経費を助成し、会員相互の連携に努めます。
- (5) 関係団体との連携
本会を構成する県視覚障害者福祉協会及び県聴覚障害者協会と連携を密にし、協会事業の推進を図っていきます。
- (6) 収益事業の促進
県及び郡市協会活動の資金とするため、会員をはじめ地域の皆様の協力を得て、日身連収益事業所の幹旋するお茶、日常生活物品のカタログ販売等の収益事業を一層促進します。
- 大会・研修会等への参加

日身連・中央社会参加推進センター・日本障害者フォーラム(JDF)等が主催の大会・研修会等へ参加し、今日的課題と全国的運動の状況を把握し、協会活動に生かし、会員に情報提供します。

6 行政への要望活動の強化

会員の声を集約し、障害者差別を解消するための条例策定後の運用等、障害者施策の充実について、長野県へ要望していきます。

知事懇談会

令和6年12月23日、県庁特別会議室において知事と障害6団体との懇談が行われました。要望内容は左記のとおりです。

- ・県条例に規定された、障害者の「合理的配慮の意思表示」に対する、行政の対応の在り方(県身体障害者福祉協会)
- ・視覚障害者を取り巻くデジタル化社会について(県視覚障害者協会)
- ・長野県手話言語条例の見直し(県聴覚障害者協会)
- ・手話通訳者及び要約筆記者の登録数の検討(県聴覚障害者協会)
- ・障害者用トイレへのユニバーサルシート(県肢体不自由児者父母の会連合会)
- ・保育士への人材育成研修の導入(県手をつなぐ育成会)
- ・親なき後、安心して暮らせる地域福祉の充実(県精神保健福祉会連合会)
- ・長野県社会福祉総合センター(仮称)の早期建設(共通)

令和7年度 資金収支予算書

(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日

勘定科目			予算額
事業活動による収支	収入	事業収入	20,427,000
		分担金収入	1,674,000
		その他の収入	0
		受取利息配当金収入	11,000
		事業活動収入計(1)	22,112,000
	支出	人件費支出	9,262,000
		事業費支出	15,271,000
		事務費支出	2,422,000
		事業活動支出計(2)	26,955,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		△ 4,843,000	
施設整備等による収支	収入		
		施設整備等収入計(4)	
	支出		
		施設整備等支出計(5)	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	2,000,000
		その他の活動収入計(7)	2,000,000
	支出		
		その他の活動支出計(8)	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		2,000,000
予備費支出(10)			140,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)			△ 2,983,000
前期末支払資金残高(12)			3,354,000
当期末支払資金残高(11)+(12)			376,000

令和6年度 資金収支決算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

勘定科目		決算額	
事業活動による収支	収入	事業収入	19,163,163
		収益事業収入	1,598,582
		分担金等収入	2,146,580
		賛助会費収入	342,000
		分担金収入	1,804,580
		その他の収益	0
		雑収入	0
		受取利息配当金収入	3,427
	支出	事業活動収入計(1)	22,911,752
		人件費支出	7,941,800
		事業費支出	14,982,861
事務費支出		1,590,500	
事業活動支出計(2)		24,515,161	
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		△ 1,603,409	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
	支出	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		0
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,000,000
		事業区分間繰入金収入	1,171,136
		サービス区分間繰入金収入	780,508
		その他の活動収入計(7)	2,951,644
	支出	積立資産支出	0
		事業区分間繰入金支出	1,171,136
		サービス区分間繰入金支出	780,508
		その他の活動支出計(8)	1,951,644
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	1,000,000
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		△ 603,409	
前期末支払資金残高(12)		4,537,373	
当期末支払資金残高(11)+(12)		3,933,964	

「新ボッチャを楽しむ！」

飯山市身体障害者福祉協会 森崎 鉄兵

障がい者スポーツの気運を高めたいと始めた「ボッチャの会」。春から秋まで月2回練習をし、今年で4年目となります。しかし、今年の冬を越すと体調不振などで参加者が少なくなり、メンバーを再募集することになりました。今年のテーマは「四季折々、勝敗より楽しく」です。これからも楽しく続けていきたいと思っています。

当協会ではこの夏に初めての会員交

『小諸身障協…令和7年度定時総会を開催』

小諸市身体障害者福祉協会…編集部 柳沢 公一

小諸市身体障害者福祉協会の総会を、去る5月27日（火）市内の温泉施設「布引温泉こもろ」で開催致しました。

当日出席者38人、欠席のため、ハガキでの委任状170人。

◎最初に柳沢会長から、最近の会の状況説明があり、会員数が昨年と比較すると微減しているものの、超高齢化が進み、総会への出席者は、年々減少の一途を辿ってきています。

このままだと、役員のなりて不足、各事業への参加率減少が目に見えているので、会員全体で、会存続への危機感を持ってほしい旨の話がありました。

流会を予定しています。この会は、市内「湯の入荘」の大広間で会員やその家族と親睦を深めるものです。そこで交流会に向けて新しいボッチャを準備しています。広さ十五畳のブルーシートで「対面型コート」を試作しました。京都市「スクエアボッチャ」に習って競技者用の飯山ルールを考案しました。1～6名でチームを編成し、赤白2組が左右に分かれ交互にボール6個

◎続いて、議長、書記、議事録署名人が指名され、議事に入りました。

◎審議事項

*第1号議案（令和6年度事業報告）（令和6年度収支決算報告）会員の外出機会、交流機会を増やすため、スポーツ（ボッチャ、マレット）大会、料理教室、健康研修会（2回）を開催したり、小諸市スポーツ協会と共催で100人規模の大会も開催。収入金額は限られています。組織規模に見合う支出に心がけ参加賞商品手配を工夫したりして、会員から喜ばれています。*第2号議案（令和6年度特別会計報告）が会長から報告があった。合わせて、監事より、

ずつを投げるといふものです。審判用の飯山ルールも簡単で障がい者に配慮されたものとなりました。この新ボッチャで皆がつながり、身体と心が明るく開放的に、そんなことを期待して活動を続けていきたいです。



初めてのボッチャ練習風景（飯山ボッチャの会）

会計監査報告があった。*各議案は出席者の拍手多数で、承認された。*第3号議案（令和7年度事業計画）（令和7年度収支予算）が*第4号議案（役員名簿、関係団体委員）について執行部より提案された。*質問、意見がなく、各議案は出席者の拍手多数で、承認された。

◎総会終了後、会場レイアウトを全員で変更してから、お弁当、お茶が、くつろぎの時間に突入。*時間の許す限り、カラオケや入浴を楽しんで頂いた。



総会終了後、和気あいあいとした会場です。

収益事業に ご理解とご協力を

日身連事業所は、各町内会・自治会のご協力を得て、回覧カタログによる収益事業と、皆様の福祉会からの「お茶」販売で県身障協と地元福祉会の財源確保のお手伝いをさせて頂いております。宜しくお願い致します。



日身連収益事業所

東京都渋谷区代々木5-57-6
所長 佐藤 慎哉
フリーダイヤル 0120-450-450

障がいのある方々と共に成長し 社会に貢献していきます

業 務 内 容

印刷 広報誌／記念誌／自費出版／文集／チラシ・パンフレット など

縫製 被服／のぼり旗／バッグ／帽子／各種防災用品 など



社会福祉法人 **ながのコロニー**

指定就労継続支援（A型） **長野福祉工場**

〒381-8580 長野市徳間1443 TEL 026-296-1411

<http://nagano-colony.or.jp>

第28回長野県障がい者文化芸術祭

作品募集

9月20日(土) 21日(日)に「第28回長野県障がい者文化芸術祭inながの」が、サンアップル(長野市下駒沢)で開催される予定です。(実施内容が変更になる場合もあります) このため作品募集を次のとおり行っていますので奮って応募してください。

1 応募資格 県内に住所を有する障がいのある方

2 部門 絵画 手芸 工芸 書道 写真 文芸

3 応募点数 文芸部門を除くいずれかの部門で、個人作品1点、グループ作品1点

4 応募期限 8月1日(金)

5 応募先 市町村障がい福祉担当課

詳しいことは市町村障がい福祉担当課又は保健福祉事務所福祉課へ照会してください。

文芸部門

1 応募資格 県内に住所を有する障がいのある方

2 部門 短歌 俳句 自由詩 (400字以内)

3 応募点数 作品テーマは自由 1人3点以内

短歌、俳句、自由詩の中からどの組み合わせ

でも可。ただし自由詩は1人1点

4 応募方法 専用申込書に作品とその他必要事項を記入の上、事務局あてにメール・郵送かファックスで応募ください。

5 応募期限 8月15日(金)

6 送付先・問い合わせ先

長野県障がい者福祉センター内
長野県障がい者文化芸術祭
実行委員会事務局

Tel 026-295-3111

Fax 026-295-3511

Email sunapple@avis.ne.jp

〒381-0008

長野市下駒沢586

川柳展

1 応募資格 県内に住所を有する方

2 応募規定 課題(テーマ)

「私の挑戦」

「自由部門(自由吟)」

自作・未発表作品とし、各部門1人1句まで

3 応募期限 文芸部門と同じ

4 応募方法など 作品は、メール・郵送・FAXにて受け付ける

1人1通、官製はがきは1枚に限る。(各部門1句以内)

5 送付先・問い合わせ先 文芸部門と同じ

ジパング倶楽部特別会員について

JR 東日本のほか、JR6 社の特急券等の割引を受けることができます。

- 対象者 男性60歳以上、女性55歳以上で身体障害者手帳をお持ちの方。
第1種の障害者の方は、介護者も割引になります。
- 年会費 1,400円
- 特典(割引) 特急券、急行券、グリーン券、指定席券が3割引(乗車距離が201km以上の時。)新規加入は、3回目まで2割引4回目以降は3割引
- 利用制限 1年間で20回まで
4/27~5/6、8/11~8/19、12/28~1/6の期間は利用できません。
- 入会申込先 長野県身体障害者福祉協会
TEL 026-228-0317



6月を迎えたとともに夏の陽気になりましたが、元気でしょうか?

古来から日本は四季がはっきりしている国だといわれておりましたが、近年はその定説が崩れてしまったようですね。今年も酷暑が予想されますので、お互いに暑さ対策を万全にして、元気で乗り切りましょう。皆様の御健勝をお祈りいたします。

